

2/15-22 Hirado City Photo News
地元企業への就職促進を目的に



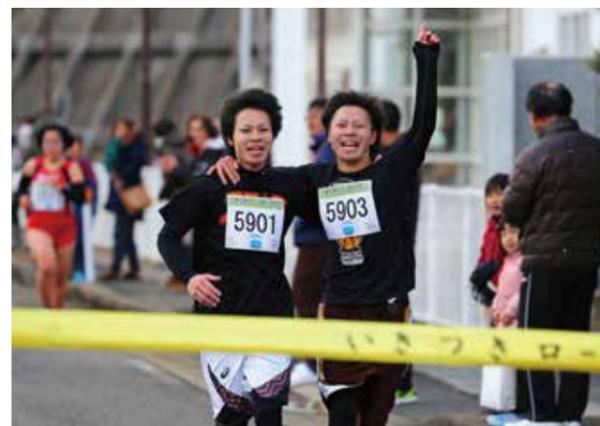
北松農業高校と平戸高校で、市内の事業者による合同企業説明会が開催されました。
 この説明会は、高校生に地元企業を知ってもらい、地元への就職や、進学後のUターンを希望する際の就職先として選択肢に挙がるきっかけづくりとして市が企画し、各高校と連携して行われました。北松農業高校で市内の事業者23社、平戸高校で22社が参加して、生徒は企業の特色や福利厚生などについて熱心に質問していました。
 (写真は北松農業高校での説明会の模様)

2/14 Hirado City Photo News
感謝の気持ちをデヴィ夫人に



市長がデヴィ夫人に感謝の気持ちを伝えるため、地元漁業者とともに東京の事務所を訪問しました。
 デヴィ夫人は、平成26年8月にTBS系の番組で、本市を訪れてふるさと納税の取り組みやウチワエビの紹介をしていただきました。それ以降平戸市のふるさと納税額も毎年度10億円を超し、ウチワエビも市内の人たちにも好評で、安定した価格で推移している旨を伝えました。そして、お土産に今が旬の平戸のヒラマサを持参して、デヴィ夫人に手渡しました。

2/11 Hirado City Photo News
ゴールを目指し力走



生月支所前をスタート・ゴールとするコースで行われる「いきつきロード2018」大会が開催されました。
 全22種目に市内外から656組721人が参加しました。この日は非常に冷え込み、あまりコンディションはよくありませんでしたが、参加者の皆さんは、沿道からの声援に支えられ、懸命にゴールを目指し力走しました。
 大会終了後は、地元の団体や業者が出店した料理を堪能していました。



2/20 Hirado City Photo News
県外企業からの農業参入は初



市内のホテルで「地のものファーム株式会社立地協定調印式」が開催されました。
 地のものファーム株式会社(本社福岡市)が、本社を田平町に移転して、太陽光を利用した水耕栽培ハウスでのリーフレタスの生産から販売まで行うなど、本格的な農業経営に参入します。主に関西圏までの小売業や外食産業を中心に取引していき、将来的には直売などまで拡大していきたいとのことです。
 県外企業による農業参入は、平戸市では初めてとなります。

2/14 Hirado City Photo News
生涯学習都市宣言から10年



平戸文化センターで「平戸市生涯学習都市宣言10周年記念大会・第12回平戸市民館大会」が開催されました。
 式では、聖徳大学の福留強名誉教授への感謝状贈呈、生涯学習まちづくり表彰、生涯学習パスポート奨励賞表彰、市民館連絡協議会表彰が行われました。その後、生涯学習推進計画の説明、各団体からの事例発表、パネルディスカッション、市民大学プレ講座として、本市職員による世界遺産登録推進についての講座なども行われました。

2/1 Hirado City Photo News
平戸の魅力に光回線に乗せて



大島村公民館で大島地区光ブロードバンドサービス開始セレモニーが開催されました。
 式では、NTT西日本嵯長崎支店の横井幸博支店長が「今後は、さまざまな分野で光ネットワークサービスを活用して、県外や海外にも平戸の魅力を発信して欲しい」と話し、NTTの担当者による光インターネット回線を使った、取り組みについての説明などが行われました。
 また、大島保育所の園児による踊りも披露され、セレモニーに花を添えました。

2/1 Hirado City Photo News
これからも絆を強固に



台北駐日経済文化処駐日代表の謝長廷^{しやちやうてい}さんが平戸市を訪れ、市長を表敬訪問しました。
 台湾と平戸市は「鄭成功」ゆかりの地という縁で親交を深めており、特に台南市とは交流都市として民間レベルでの交流を続けています。
 謝大使は、流暢な日本語で「平戸は台湾人にとって特に大切な場所であり、これからも絆を深めていきたい」と今後の展望を話されました。4月には平戸市から台湾に親善訪問団が訪れる予定で、さらなる交流の促進を約束しました。